

100人会議を開催



光町50年の総仕上げと、新しいまちづくりに向け検討するため「光町まちづくり100人会議」を設置しました。

光町50年の総仕上げのため、行政サービス全般にわたる総点検と地方分権時代にふさわしい将来ビジョンをどのように考えていくかを、より多くのみなさんに検討していただくため、光町まちづくり100人会議（委員150名）を設置し、7月18日午後7時から第1回目の会議を町民会館大ホールで開催しました。

開会宣言後、町内4地区を代表し4名の委員へ、町長から委嘱状が交付され、引き続き町長からあいさつがあり、会議の開催にあたり基本的な考え方の説明がありました。

氏が選任されました。議長進行のもと会議は進められましたが、第1回目の今回は、事務局から資料をもとに、光町50年の総仕上げ「プロジェクト光50」の骨組みと八日市場市・光町・野栄町合併協議会経過報告及び今後のスケジュールについて説明があり、意見交換では委員の方々から質問、意見をいただきました。



町長あいさつ（要旨）

光町の総仕上げ、新市の立ち上げという、この二つの大きな施策課題に、より多くの町民のみなさんの声を聞かせていただきたい。そして、その声をこれからの施策に、あるいは市町村合併に反映させていきたい、ということからこの100人会議を発足させていただきました。

的な考え方、二つの目は市町村合併の進捗状況、合併協議会の中でどのような問題が協議されているのかということについてご報告し、みなさんのご意見を賜りたいと思っています。

その、総仕上げということの中で私がこの2ヶ月の中で取り組んできたところをかいつままで説明しますと、まず6月1日付けで組織改革を行い、企画財政課の中に企画総合調整室を作り、新たな視点にたつて3か年実施計画の洗い直しを行い、9月補正予算で具現

化していきいたいと考えているところです。

次に、東陽病院の問題でありますが、財政状況が厳しく相当額の赤字が出ていることから、助役をトップとした運営改革委員会において、思い切った経営改革をしようという取り組みを始めた。

また、合併までの総仕上げの中では、「光町は良かった。」と、この気持ちを盛り上げ、その勢いをもって、新市に飛び込んでいくようなシナリオを描いていきたいと思っていますが、そのためにはどうしたらいいか、

遠慮のない意見を出していただきたいと思っています。

次に市町村合併につきましては、すでに2回の協議会が実施されました。我々の1市2町の進捗状況は極めて順調であり、今までは合併の進め方や方針について検討してきましたが、いよいよこれから中身の検討に入っていくこととなります。

以上、本会議の趣旨及び考え方ににつきまして話をさせていただきましたが、みなさま方の活発なご意見をお聞かせいただけますことを期待いたします。